

## 議決権行使ガイドライン 新旧対照表 2024 年度版

### 取締役選任議案 第 5 判断基準

(旧)	(新)
ROE が 8% を今期計画含め 3 期連続下回った場合は原則反対としますが、個社の状況についても勘案します。	<u>今期計画を含め 3 期連続で ROE が 8% に達しなかった</u> 場合は原則反対しますが、個社の状況についても勘案します。

趣旨:「ROE が 8% に達しないものの、その範囲内で上がれば反対にならない」と読めてしまわないように文言を変更しました。

### 取締役選任議案 第 10 判断基準

(旧)	(新)
ダイバーシティへの取り組み、特にジェンダーダイバーシティの取り組みは多様性の確保という観点で重要と考えており、取締役には少なくとも 1 人は女性が含まれていることを希望します。また、スキルマトリックスなどを通じた情報開示についても求めていきます。こうした取り組みが著しく欠如していると判断した場合は、翌年度以降、原則反対とします。	ダイバーシティへの取り組み、特にジェンダーダイバーシティの取り組みは多様性の確保という観点で重要と考えております。 <u>取締役には少なくとも 1 人は女性が含まれていることが必須であると考えており、複数名含まれることも望みます。同時に、執行側のジェンダーを考慮した育成や登用、企業固有の事業環境を鑑み取締役の多国籍化についても希望します。</u> また、スキルマトリックスなどを通じた情報開示についても求めていきます。こうした取り組みが著しく欠如していると判断した場合は、翌年度以降、原則反対とします。

趣旨:女性取締役の基準を厳格化した上で、他の次元についての一層の考慮も企業に促すことを意図しています。